

丸森町国民健康保険丸森病院

経営強化プラン

令和 7 年度実績の点検・評価

令和 8 年 9 月
丸森町国民健康保険丸森病院

○評価・公表について

「丸森町国民健康保険丸森病院経営強化プラン（令和6年～令和9年度）」において設定した各種目標の達成状況、具体的な進捗及び実施状況について点検・評価を行いました。

その内容を、丸森病院運営委員会へ諮問し、丸森町議会への説明を経たので、ホームページで公表します。

○評価基準について

数値目標に対する評価は、下記の基準により行いました。

評価区分	数値目標に対する達成状況	取組み評価
A	100%以上と認められるもの	目標を達成している
B	90%以上と認められるもの	目標をおおむね達成している
C	80%以上と認められるもの	目標未達である
D	79%未満と認められるもの	目標に対して大幅な未達である

令和7年度における経営強化プラン実施状況の点検評価について

令和7年度における経営強化プラン実施状況の点検評価について、お知らせします。

1 医療機能や医療の質、連携強化に係る数値目標

区 分	目 標	実 績	達成度	評 価	評価・次年度に向けた取り組み
a 訪問診療 延べ件数	180 件	127 件	70.6%	D	達成度は目標値に対して 70.6%となった。訪問診療の新規訪問件数は、昨年度の3件に対して7件となり増加したものの、近年は高齢者の介護施設への入所割合が増え、既存の利用者の利用期間が短くなる傾向にあり、訪問件数全体を押し下げる要因となった。また、サービスを必要とする人への周知が足りなかった点も一因として考えられる。今後は、病院だより等による情報発信を強化し、あわせて、介護施設等への訪問診療サービス提供を図ることで、件数増加につなげていく。
b 在宅復帰率	78.5%	79.0%	100.6%	A	昨年度に引き続き、在宅復帰率は目標を達成することができた。入院患者の情報を院内の多職種で共有し、介護施設との情報交換等により連携を図ったことで、退院後の自宅での生活や施設入所など、それぞれの患者の状況に適した医療の提供を進めたことが奏功したものと考えられる。次年度も、引き続き連携の強化を図り、在宅復帰率の向上を目指していく。
c 紹介件数	1,019 件	709 件	69.6%	D	昨年度に続き、紹介件数・逆紹介件数ともに目標値を下回った。入院・外来患者数が大きく減少したことにより、紹介件数・逆紹介件数も同様に減少したものと考えられる。次年度は、みやぎ県南中核病院や各医療機関等との連携をより強化し、入院患者の受入れ件数増加を図りつつ、あわせて、病院だより等により、院内情報を積極的に発信し、外来患者を確保することで件数の増加を図っていく。
逆紹介件数	766 件	525 件	68.5%	D	
d 地域連携各種 相談件数	2,536 件	2,395 件	94.4%	B	外来患者家族への在宅医療・介護保険に関わる相談件数や、入退院時における施設入所及び介護関係の相談件数が合わせて600件ほど増加したことで、前年度実績を上回った。次年度以降も、患者や家族に寄り添った相談対応を継続し、件数の増加を図っていく。
e 人間ドック 実施件数	488 件	444 件	91.0%	B	人間ドック実施件数及び一般健康診断実施件数は概ね目標を達成することができた。次年度以降は、町内の事業所や町職員への受診勧奨を強化し、生活習慣病予防健診・人間ドックともに、実施件数の増加を図っていく。
一般健康診断 実施件数	166 件	151 件	91.0%	B	

※A(100%以上)：達成 B(90%以上)：おおむね達成 C(80%以上)：未達 D(79%未満)：大幅な未達

2 経営指標に係る数値目標

区 分	目 標	実 績	達成度	評 価	評価・次年度に向けた取り組み
a 病棟別 1 日あたり入院患者数にかかる数値目標 一般病棟	32.7 人	20.2 人	61.8%	D	令和 7 年度は、外科常勤医を 1 名増員し診療体制を強化したことにより、外科入院患者は増加したものの、内科入院患者の減少が大きく、入院患者数全体では減少し目標値を下回った。次年度も、引き続き診療体制の強化を図るとともに、治療を必要とする患者の方々に信頼される病院を目指していく。
療養病棟	9.6 人	5.2 人	54.2%	D	
b 医業収支比率	78.0%	54.3%	69.6%	D	医業収益は、入院・外来患者数の減少に伴い大幅な減益となった。医業費用は修繕費等を抑制するなど経費削減に努めたものの、給与改定による給与費の増加や物価上昇の影響により減益の幅が拡大し、医業収支比率および修正医業収支比率ともに目標値を下回った。次年度も、院内各部署が一丸となり、入院・外来患者数の増加による収益向上と、委託費等の経費見直しによる費用削減を図り、収支の改善に努めていく。
c 修正医業収支比率	68.1%	44.4%	65.2%	D	
d 経常収支比率	94.4%	83.2%	88.1%	C	医業収益は、入院・外来患者数の減少に伴い大幅な減益となった。一方、医業外収益では、町一般会計からの繰入金が前年度に引き続き 2 億円増額され、また、国の「賃上げ・物価上昇に対する支援策」を活用し補助金の交付を受けたことで、財源の確保に努めた。医業費用は、修繕費等を抑制するなど経費削減に努めたものの、給与改定による給与費の増加や物価上昇の影響により、全体的に増額となった。医業外費用では環境配慮型改修工事に関連する消費税の支出が前年度と比較して約 1 億円減少したことで、経常費用は減少したものの、経常収支比率は目標値を下回った。次年度も、院内各部署が一丸となり、入院・外来患者数の増加による収益向上と、委託費等の経費見直しによる費用削減を図り、収支の改善に努めていく。

※A(100%以上)：達成 B(90%以上)：おおむね達成 C(80%以上)：未達 D(79%未満)：大幅な未達